やまのかたりべ

第70章　黒川山・鶏冠山

今年3月頃、今まで登っていない大菩薩嶺付近の山がないかと地図を広げた時、大菩薩の北側に黒川山・鶏冠山（けいかんざん）という山をみつける。登山口となる柳沢峠まで塩山駅からタクシーで約40分およそ5,200円かかるとのこと。乗り合い乗車ならいいが、一人となると私としては厳しい金額。バスでのアクセスを調べる。平成28年の運行期間は4月23日～11月23日の土日祝日のみとわかる。5月以降に行ってみようと計画し、6月19日 日曜日いよいよ決行。梅雨時期なので天気を心配するが、予報では晴れのち曇り。決行日数日前に姉に鶏冠山に登りに行くと話すと「行く～！！」と元気な返事が返ってくる。当日高尾駅で待ち合わせすることに。

＜ポイント1＞
黒川鶏冠山:黒川山というのは本来大菩薩嶺の北、柳沢川と泉水谷に挟まれた山域一帯をいう。今では三角点峰を黒川山、その東のあたかも鶏冠のようにとがった岩峰を鶏冠山とよび、合わせて「黒川鶏冠山」と総称することが多い。
武田氏の時代にこの周辺で金が採掘されたことから「黒川金山」という名でも知られ、現在でも東の山腹に坑道の跡を見ることができる。全盛のころには黒川千軒といわれるほどの鉱山街がその谷あいに栄えたという。（ヤマケイアルペンガイド4 奥多摩・奥秩父　参照）

6月19日（日）　AM5時起床
予報通り晴れている。前日に購入した朝食、行動食を冷蔵庫から取り出しザックに押し込む。今日は暑くなりそうなのでお茶は用意せず、ナルゲンボトルに飲み水1ℓ、プラティパスにお昼に使う水を500ml用意する。

AM6時　自宅出発
電車にて高尾駅まで。駅で姉と合流。

AM7時6分　高尾駅発甲府行きの電車に乗車
いつものことながら、休日の早朝電車は登山者で賑わっている。下車する塩山駅まで1時間ちょっと。
その間に朝食を済ませる。

AM8時12分　塩山駅到着
AM8時30分　大菩薩峠経由、柳沢峠、落合行のバスに乗車。
立ち乗りの方がいるが、思っていたよりバスは空いている。

＜ポイント2＞
塩山駅から柳沢峠、落合行のバスは一日2本のみ。逆方向の落合から塩山駅行きのバスも一日2本しかない。乗り遅れると痛い出費となる。下記甲州市のサイト参照。
http://www.city.koshu.yamanashi.jp/kurashi/koutsu/detail/

大菩薩峠登山口で半分くらいの方が下車。ここから先を乗車し続けるのは初体験。山道に入っていくと結構迫力のある道となり、「青梅街道、大菩薩ライン」と名付けられている。調べたところ、ツーリングに人気のある道。大自然の中に作られた高架橋やカーブを何度か繰り返すツーリングは最高の気分なのであろう。（下りは空を飛んでいるようだとブログに書いている方がいる。）
バスが登ってきた道が見えるのだが、本当にすごいところに道を作ったと感心してしまう。この道は柳沢峠越えて、奥多摩の方に抜ける道とのこと。

AM9時15分　柳沢峠下車
終点の落合まで行く登山者はなく、私たちを含め皆このバス停で下車。標高 1,472m の柳沢峠、数人のライダー達が楽しそうに会話をしている。駐車場にあるお手洗いを使用し、登山準備をする。鶏冠山と三窪

高原に向かう登山者で二手に分かれるが、鶏冠山に向かうグループが見当たらない。そちら方面に登る人はいないのか？
今年、熊出没ニュースが多くテレビで報道されているが、登山口にも熊出没注意の看板がある。姉と私それぞれEOJのクマ鈴を装備。

（登山口）

9 時 30 分　出発
歩き始めて 10 分もしないところで姉が「うわ！！びっくりした！」と声を上げる。見上げると黒い服の男性一人、下山してきたのか我々が通過するのを止まって待っている。熊と見間違えた姉に、その男性が通過する際に言った言葉が「いや～笑いごとではなく、先週この付近で熊見ました。気を付けてください。」と・・・・え？？「あ・・・・はい。」と返事をするも、準備したのはクマ鈴と戦う道具はステッキのみ。熊は臆病だから驚かしてはいけないが、鈴を鳴らしていたにもかかわらず遭遇してしまったら、まずは逃げる。逃げられないときは戦うしかないのか！ステッキではなくピッケルをもってくればよかった・・・・姉が襲われたらどうやって戦うか・・・と一人悶々と考えていたら、きれいな広葉樹林帯の森のなかに入り、さっきまでの不安な気持ちを払拭される。
神経を研ぎ澄ましての登山となる。姉もおっかなびっくり、遠くに見える岩や切り株が熊に見えたりで、時より「あっ！・・・びっくりしたな～」と独り言をつぶやいている。そのつぶやきにこちらもドキッとなる。小心者の自分たち姉妹に思わず苦笑い。

AM10 時 10 分　六本木峠到着
登山者 3 名が先に休憩中。丸川峠（大菩薩嶺）に向かう道との分岐点となる。水分補給のみ行い早々に出発。しばらく行くと舗装された道を横切る。きれいに整備された登山道が続く。間伐がしっかりされた明るい林だ。

（六本木峠）

（間伐された明るい登山道）

AM10 時 35 分　横手山峠到着
二人の男性が休憩中。「こんにちは。この山は登山者が少ないですね～」と話しかけると「いつ来ても人が少なくていい山だよ。急な登りもないし。東京の水道局が管理しているからきれいに整備されているしね。山頂はここからすぐだから楽しんできてね。」と常連登山者の様子。この山は人慣れした熊は今のところいないようだと一安心。ここから少し急な登りになる。

AM10 時 55 分　黒川山到着　標高 1710m
明らかに山頂らしくない山頂に姉と二人で疑問を抱く。
鶏冠山に向かう前に、見晴し台に行ってみることにする。
見晴し台は岩場となっており、大勢で楽しむことは
できない小スペースである。景色は残念ながらの
曇り空で遠くまで見ることが出来ない。
早々に来た道を戻る。実は戻る途中の小さい広場に
三角点があり、そこが黒川山山頂で私も姉も見過ごす
という失敗。
分岐点に戻り鶏冠山目指す。アップダウンの後、岩場が
現れる。「これより岩場になります」と注意喚起の
案内板がある。
岩場や木の根が現れ、ここを登れば山頂か？？
と思ったが、山頂らしき道標はない。

(↑黒川山(見晴し台)と鶏冠山、道標)

お腹も空いたので、山頂に行く前にお昼をとることに。

(　岩場になりますと案内板が出た後の登山道　)

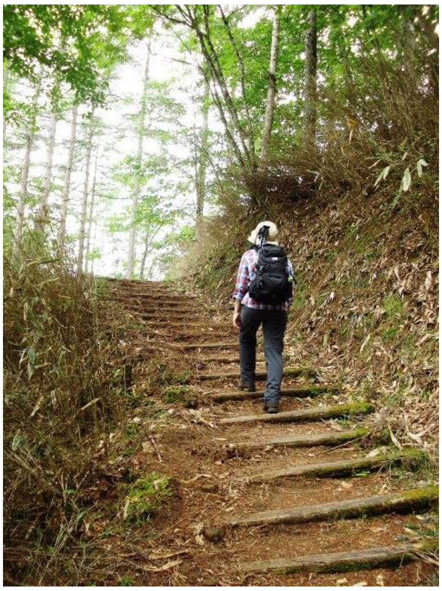
AM11 時 15 分　昼食
お湯を沸かしお昼の準備。雨がぽつぽつ降ってきたが、ありがたいことに木々が遮ってくれ雨具を着なくてもすむ。20 分ぐらいで食べ終え山頂に向かう。

AM11 時 50 分　鶏冠山到着　標高 1,716m
祠が祀られている。狭い山頂であるが眺めは最高。晴れていたら素晴らしい展望のはず。雨も強かったので早々に下山する。下山は黒川山の北側を巻いて横手山峠に出るコースで戻る。この道を使う登山者はあまりいないのか、足跡がほとんどない。苔の色がきれいだと姉が嬉しそうに話してくる。確かに鮮やかな緑色が美しい。
横手山峠に到着。雨もひどくなりそうなので休憩することなく先に進む。

PM1 時 30 分　登山口柳沢峠に下山
峠に戻るころには雨は止んでいた。小休憩をとる。15 時 40 分までバスはない。途中雨が降ってきたことで予定よりかなり早いペースで歩いた。時間があるので三窪高原に登り、柳沢の頭まで行くことにする。

＜ポイント 3＞
三窪高原:柳沢峠駐車場から歩いて一時間程で訪れることができる。富士山・南アルプスのビュースポット。(関東の富士見百景)山梨県甲州市観光協会ホームページ参照

PM1 時 45 分　柳沢の頭に向けて出発
こちらのコースは階段から始まる。さすがに姉も足に疲れがでてさっきと同じペースでは登れない。時間はたっぷりあるのでのんびり進む。ひたすら登りのコース。西側斜面展望は開けていたがあいにくの天気で景観はいまいち。



(柳沢の頭への道)

(柳沢の頭)

14 時 15 分　柳沢の頭到着
ちょっとした広場となっている。のんびり時間を過ごそうとしたが、雨がひどくなり急いで下山。展望は残念ながらむなしく単なるトレーニングとなる。

14 時 40 分　柳沢峠に再び到着
ライダー達が入れ代わり立ち代わり駐車場に入ってくる。トイレで着替えを終え、余った行動食を食べながらバスが来るのを待つ。

15 時 40 分　落合から来たバスに乗車
今回は思ったより天気がパッとせず、景色も堪能できなかった。
紅葉の時期また訪れてみようかと思う。熊もまだ活動中か！？
その時は丸川峠経由して下山しようかな…。
次の山行計画を考えながら、今日も無事下山できたことと
熊におびえながら一緒に登山してくれた姉に感謝。

6 月 19 日(日)
9 時 30 分　柳沢峠出発
10 時 10 分　六本木峠着
10 時 35 分　横手山峠着
10 時 55 分　黒川山(山頂)着
11 時 50 分　鶏冠山　着
12 時 35 分　横手山峠着
13 時 30 分　柳沢峠着

文責:松田留美

(鶏冠山より)